ボーリング柱状図

調　査　名　市道宮ノ浦線地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

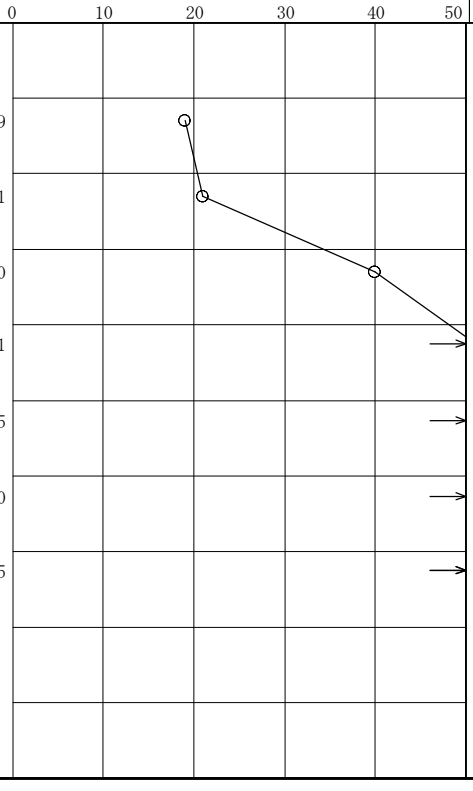
シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	福岡市西区大字宮浦地内					北緯	33° 38′ 14.79″
発注機関	福岡市西区地域整備部　土木第2課			調査期間	平成 27年 10月 7日 ～ 27年 10月 7日			東経	130° 13′ 28.44″
調査業者名	平成地研株式会社 電話（092-575-0340）	主任技術者	松元　博康	現場代理人	内田　賢次	コア鑑定者	内田　賢次	ボーリング責任者	杉谷　忠志
孔口標高	10.47m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機：東邦式DO-C型　ハンマー落下用具：半自動落下
総掘進長	7.00m								エンジン：ヤンマーNFDL-K型　ポンプ：東邦式BG-3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	10.22	0.25	0.25		舗装	黒～灰			0.10mまでアスファルト 0.10～0.25mまで砕石	
1	8.97	1.25	1.50		盛土・礫混り砂質土	褐灰	中位		砂は若干の細粒分を含有した細～中粒砂 φ5～30mm大の角～亜角礫を混入する	
2 3	6.47	2.50	4.00		強風化花崗岩・砂質土	褐灰～灰褐	中位～密な		岩組織を残すが、風化著しく砂質土状コアで採取される 上位は強風化した粘土鉱物を多く含有した中～粗砂状 3.00m以深より粘土鉱物は、ほとんど含有せず、指圧にて粗砂～細礫化する	10/8 2.80
4 5 6 7	3.47	3.00	7.00		風化花崗岩・軟岩	灰褐～灰		軟岩	岩組織を残し、半固結状コアで採取されるが風化進行し非常に脆い 指圧にて容易に砕け、砕くと粗砂～細礫化する 粘土鉱物は、ほとんど含有しない D級岩盤に相当する	
8 9										

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	6	7	6	19／30	19
1.45 2.15	6	7	8	21／30	21
2.45 3.15	11	14	15	40／30	40
3.45 4.15	22	24	4／1	50／21	71
4.36 5.15	17	23	10／3	50／23	65
5.38 6.15	17	22	11／5	50／25	60
6.40 7.15	21	29		50／20	75
7.35					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						10/5 10/6

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。